

## 第2章 みはら資源の概要

### 1 みはら資源の件数

#### (1) 指定等文化財

三原市では、令和5（2023）年8月現在、298件のみはら資源を指定・登録などとしています。内訳は、指定文化財では国指定等文化財が16件、県指定文化財が58件、市指定文化財が210件、国登録文化財が13件、国選択文化財が1件の計298件です。

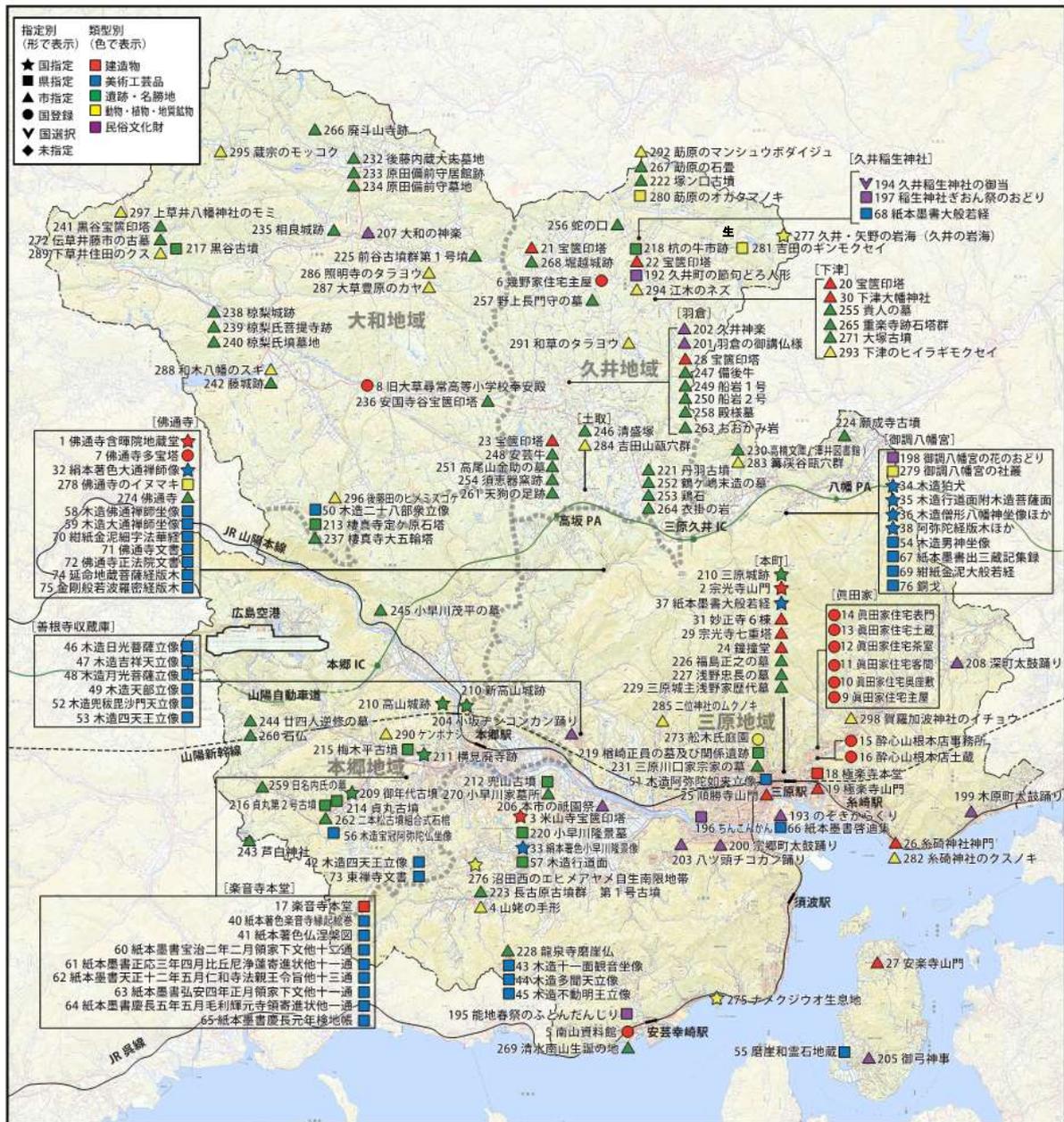
指定等文化財の所在地は市域全域に広がっています（次頁の分布図を参照）。

時代区分で見ると、中世が最も多く、次いで、古代、近世を多く指定しています。無形文化財の指定と、重要文化的景観、重要伝統的建造物群及び選定保存技術についての選定はありません。また、埋蔵文化財包蔵地は市内に807箇所確認しており、内訳は三原地域255、本郷地域278、久井地域123、大和地域151箇所です。

表：三原市内の指定等文化財の件数（令和5年8月現在） ※重要美術品1件は未指定文化財

分類	種別	国指定等	県指定	市指定	国登録	国選択	合計	
有形文化財	建造物	3	2	13	12	-	30	
	美術 工芸品	絵画	2	3	17	0	-	22
		彫刻	3	18	50	0	-	71
		工芸品	0	0	18	0	-	18
		書跡・典籍・古文書	1	14	22	0	-	37
		考古資料	0	1	2	0	-	3
		歴史資料	1	2	6	0	-	9
無形文化財		0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	1	1	0	-	2	
	無形の民俗文化財	0	4	10	0	1	15	
記念物	遺跡（史跡）	3	9	53	0	-	65	
	名勝地（名勝）	0	0	(1)	1	-	1	
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	3	4	18	0	-	25	
文化的景観		0	-	-	-	-	0	
伝統的建造物群		0	-	-	-	-	0	
		16	58	210	13	1	298	

注)市指定の名勝地は、遺跡と重複指定のため(1)と表記した。 0は0件 -は制度なし



指定等文化財の分布図  
 (美術工芸品は国指定、県指定のみ記載。)

## (2) 未指定文化財

本地域計画作成にあたり、指定文化財を除く未指定文化財を一覧にまとめました。既存の調査や文献資料を整理するとともに、意識調査においてみはら資源を具体的に記入してもらい、市域全体について把握を行いました。(既存調査については、資料編を参照。)

リスト化(調査結果をリストアップ)した未指定文化財は合計2,783件にのぼります。次の表では、種別・分類ごとの件数を整理しました。

表：未指定文化財の一覧(令和5年8月現在)

種別		分類	件数
有形文化財	建造物	寺院	119
		神社	48
		住宅	42
		近代建築	29
		土木構造物	41
		御堂・小祠	105
		石造物	498
	美術工芸品	絵画	68
		彫刻	409
		工芸品	168
		書跡・典籍・古文書	46
		考古資料	0
		歴史資料	5
	無形文化財		工芸技術
		伝統食	3
民俗文化財	有形の民俗文化財	芸能・祭礼用具	2
		民具	0
	無形の民俗文化財	祭礼行事	183
		民間信仰	3
		芸能	1
		行事	7
		伝説・伝承	77
		民謡・唄	33
			動物・植物・地質鉱物
		植物	19
		地質鉱物	1
文化的景観		農業	5
		漁業	1
		街道・古道	2
伝統的建造物群		城下町	1
		農漁村	1
その他			1
合計			2,783

## 2 種別ごとのみはら資源概要

みはら資源の概要を、種別ごとに整理します。みはら資源には、他地域との交流を示すものや、日本でも他にあまり例のない貴重なものも含まれています。

### (1) 有形文化財（建造物）

国指定文化財が3件、県指定文化財が2件、市指定文化財が13件、国登録文化財が12件、合計で30件あります。加えて、未指定文化財は882件あります。

寺院建築として、国指定文化財は2件あります。佛通寺含暉院地藏堂は室町時代前期の建立の小規模な禅宗様の仏殿です。本町の宗光寺山門は新高山城内の門を移建したと伝えられていますが、福島正則によって新たに建立されたという説が有力です。県指定文化財は2件、市指定文化財は5件あり、いずれも近世の建造物です。本郷町南方の楽音寺（本堂が県指定）は平安時代後期の沼田氏が創建した寺院です。東町の極楽寺（本堂が県指定、山門が市指定）は三原城築城後に三原城下町に移された寺院です。その他の指定を受けている建造物も三原城下町に立地しています。未指定の寺院建築は119件リスト化しました。そのうち三原地域が86件であり、正法寺や妙正寺など三原城下町の寺院の建造物が多数を占めています。

神社建築として、市指定は2件あります。糸碓神社神門は、三原城にあった侍屋敷門の一つが移築されたものです。下津大幡神社は、建物はなく、自然石を積み重ねた岩の中に石像が祀ってあるもので、古来の崇拝形式を今に伝えています。未指定の神社建築は48件リスト化しました。そのうち三原地域が29件、次いで久井地域が13件と多くなっています。本殿に加え7つの小社の他、石灯籠などの石造物が多く所在している大島神社や高杉神社などがあります。

住宅などの建築として、国登録は10件あります。東町の眞田家住宅（母屋含めて6件が登録）は和洋折衷の建造物を有する大規模な商家の住宅、酔心山根本店（事務所など2件が登録）は近代の造り酒屋の建造物です。南山資料館（幸崎能地）は木造2階建ての洋風の診療所建築であり、現在、地元町出身の清水南山の資料館として活用されています。未指定の住宅などの建築は42件リスト化しました。三原城下町における商家や住居の町家建築や農家建築などが含まれます。

石造物として、国指定は1件あります。米山寺宝篋印塔は鎌倉時代末期の元応元（1319）年に建てられたもので、沼田小早川氏の墓所内にあります。市指定文化財が6件で、うち久井地域の宝篋印塔が5件です。また、国登録は2件あり、佛通寺多宝塔と旧大草尋常小学校奉安殿です。神社境内の石灯籠や鳥居、宝篋印塔や五輪塔、庚申塔、旧街道に残る常夜燈や道標などを未指定の石造物建築として498件リスト化しました。重要美術品 石造宝篋印塔は、佛通寺を創建した小早川春平の妻の松岩尼の墓と言われており、室町時代前期に建てられたと考えられています。また、磨崖和霊石地藏の常夜燈や熊野神社の庚申塔などもあります。

その他、未指定文化財として、近代建築29件、土木構造物41件、御堂・小祠105件をリスト化しました。近代建築は、三原地域が26件と多くを占め、紡績などの工場や鉄道駅

舎などを含みます。土木構造物は、護岸や防波堤、物揚げ場などの港の施設、鉄道施設、橋梁、砂留などを含みます。御堂・小祠は市内に多く所在しており、大和地域で66件、久井地域で35件をリスト化しました。

## (2) 有形文化財（美術工芸品）

国指定文化財は7件、県指定文化財は38件、市指定文化財は115件の合計で160件あります。6類型の中で最も多い指定件数です。加えて、未指定文化財は696件あります。

### ① 絵画

国指定文化財は2件あります。絹本著色大通禪師像 附 紙本墨書大通禪師墨蹟 紙本墨書大通禪師消息は、応永14(1407)年に小早川春平の求めに応じて作成された肖像画で、佛通寺が所有しています。絹本著色小早川隆景像は、小早川氏の氏寺である米山寺が所有しています。県指定文化財は3件で、絹本著色釈迦涅槃像は小早川茂平の菩提寺である永福寺が所有し、紙本著色楽音寺縁起絵巻、紙本著色仏涅槃図は楽音寺が所有しています。市指定文化財は17件で、小早川氏の肖像や三原城絵図などが指定されており、小早川氏に関連するものが多くを占めています。

未指定文化財として、68件リスト化しました。そのほとんどは、三原城下町の寺院が所有する絵画で、宗光寺の十六羅漢図や妙正寺の蓮花図などがあります。

### ② 彫刻

国指定文化財は3件で、いずれも御調八幡宮が所有しています。木造狛犬は室町時代の作で、もともと本殿に安置されていたものです。木造行道面 附 木造菩薩面は、平安時代から室町時代に作成された行道面で13面を指定しています。木造僧形八幡神坐像、木造僧形神坐像、木造女神坐像、木造天部形立像は、本殿に祀られている神像であり、平安時代前期に制作されたものです。

県指定文化財は18件、市指定文化財は50件にのぼります。小早川氏一族のゆかりの寺院であった東禅寺、龍泉寺、棲真寺、佛通寺の仏像などを指定しています。寺が消失し、仏像を地域で保存している善根寺収蔵庫は、三十数体の仏像を所有しており、そのうち6体が県指定、16体が市指定です。仏像・神像のほか、行道面、珍地処面、竿頭飾、木造狛犬を指定しています。

未指定文化財として、糸碓神社の男神像・女神像、東禅寺の本尊、脇侍二軀など、市内各地の社寺が所有する409件の仏像・神像をリスト化しました。

### ③ 工芸品

市指定文化財は18件あります。刀剣を7件指定しており、南北朝から安土桃山時代に制作されたものです。幸崎町で生まれ、大正から昭和にかけて活躍した清水南山の彫金が7件あります。その他、三原鋳物師による銅鐘、浅野忠義着用の具足、鰐口を指定していま

す。

未指定文化財として、168 件リスト化しました。法常寺の小早川隆景位牌、熊野神社の棟札など、寺院が所有する鐘撞や位牌、棟札などが多くあります。

#### ④書跡・典籍・古文書

国指定文化財の紙本墨書大般若経は鎌倉時代に写された大般若経です。所有する正法寺は、三原城築城に際して沼田荘から移された寺院です。

県指定文化財は 14 件あり、東禅寺文書や楽音寺文書、佛通寺文書などを指定しています。その他、日本医学史上に功績を遺した曲直瀬道三<sup>まなせどうさん</sup>が小早川隆景の侍医に送った医学書である啓迪集、鎌倉時代における地方仏教史を伝える貴重な資料である出三蔵記集録、久井稻生神社・御調八幡宮の大般若経などがあります。

市指定文化財は 22 件で、室町時代からの地域の様子を伝える佛通寺文書、室町時代の医書や神代の巻講義の古写本、妙正寺に所蔵されたものなどがあります。

未指定文化財として、宗光寺一株院本尊由緒書や三原城城壁文書、三原市が所蔵する家文書など 46 件をリスト化しました。宗光寺、香積寺など、三原城下町の寺院が所有する中世から近世のものを含んでいます。

#### ⑤考古資料

県指定文化財は 1 件で、弥生時代中期の銅戈は御調八幡宮宝物として伝えられています。市指定文化財は 2 件で、弥生時代の古武士遺跡工房跡出土石器類、室町時代の沼田東出土中世船の船底材を指定しています。

#### ⑥歴史資料

国指定文化財は 1 件で、阿弥陀経版木・法華経普門品版木・金剛寿命陀羅尼経版木は、鎌倉時代制作の板木です。最古の地方版として印刷史上貴重な資料です。

県指定文化財は 2 件で、延命地藏菩薩経版木、金剛般若波羅密経版木とともに室町時代の版木で佛通寺が所有しています。市指定文化財は 6 件あり、中世の萩原市岡八幡神社の棟札、懸仏、中世船の船底材、近世の三原城本丸大広間建築部材や文政 12（1829）年の三原城石垣櫓修補願図控、近代の清水南山遺品など、種類は多岐にわたっています。

未指定文化財として、5 件をリスト化しました。三菱重工のディーゼル機関車や錨などの近代のみはら資源も含んでいます。

### （3）無形文化財

指定文化財はありませんが、未指定文化財は 6 件あります。三原だるまなどの工芸技術や伝統食です。

#### (4) 民俗文化財（有形の民俗文化財）

県指定文化財が1件、市指定文化財が1件あります。県指定の久井町の節句どろ人形は、久井地域で収集された土人形コレクションで、江戸時代末期から昭和前期頃までに使用されたものです。かつては、子どもの誕生の喜びと成長を託して、親類や知人が土人形を贈る慣習がありました。これらの土人形は民芸品として地方文化の特色を示すほか、人生儀礼や年中行事に深い関わりを持つ資料として重要です。市指定ののぞきからくりは、縁日などで活躍した大型の紙芝居様のものです。大正時代後期に作られたもので、日本に現存する2点のうち、1点です。

未指定文化財として2件リスト化しました。歌舞伎芝居奉納額、力石です。

#### (5) 民俗文化財（無形の民俗文化財）

県指定文化財が4件、市指定文化財が10件あります。ちんこんかんは、大須賀神社（新倉）へ奉納される踊りで江戸時代から続いています。現在、7団体で行われています。同じく江戸時代から伝承されている太鼓踊りや御調八幡宮の花おどり、稲生神社ぎおん祭のおどりなどは、いずれも雨乞い踊りをルーツとして現在に伝わる踊りです。祭礼行事として、能地春祭のふとんだんじりや本市の祇園祭、佐木島の亀山八幡神社の御弓神事があります。また、久井や大和の神楽は備後神楽の系統をひき、現在まで伝承されています。その他、久井稲生神社の御当が国選択となっています。

未指定文化財として215件リスト化しました。三原神明市、三原やっさ踊りのほか、市内各地の社寺の祭礼行事や年中行事、民間信仰、芸能、伝説・伝承、民謡・唄などが含まれます。

#### (6) 記念物（遺跡〔史跡〕）

国指定文化財が3件、県指定文化財が9件、市指定文化財が53件あります。古墳・墳墓としては、国指定文化財が1件、県指定文化財が5件、市指定文化財が8件となっています。国指定の御年代古墳は、7世紀中期に築造された古墳と考えられ、内部は横穴式石室で、全国的にも数の少ない複室構造の1石室2石棺となっています。古墳内部から発見された須恵器などの副葬品は、現在東京国立博物館の所蔵となっています。周辺には、県指定の梅木平古墳、貞丸古墳、貞丸第二号古墳などがあります。沼田川沿いには多くの古墳が立地しており、下流域最大規模の円墳である兜山古墳は県指定文化財となっています。加えて、貝持貝塚、毘沙門山下遺跡、福礼古墳など未指定の474件をリスト化しました。

集落跡として、市指定文化財が1件です。奈良時代後半の久井の須恵器窯跡が指定されており、周辺には30基以上の窯跡が見つかることから、古代安芸国最大級の窯業生産地であったことがわかります。加えて、宿禰島遺跡など、未指定文化財として167件をリスト化しました。

城館跡として、国指定文化財が1件、市指定文化財が5件となっています。国指定文化財である小早川氏城跡は、小早川氏の本拠であった高山城跡、高山城から16世紀半ば頃に

移った新高山城跡、中世末期（16世紀後半）に築城された近世城郭である三原城跡が一括して指定されている珍しい例です。その他にも、棕梨城跡、藤城跡など、小早川氏に關係する中世城跡が指定されています。加えて、梨羽城跡、行武城跡など、未指定文化財として58件をリスト化しました。市全域に分布しています。

社寺跡として、国指定文化財が1件、市指定文化財が4件です。国指定文化財である横見廢寺跡は、飛鳥時代の寺院と考えられ、講堂跡、塔跡、回廊跡、北面築地跡などの遺構が見つっています。その他、毛利元就・隆元父子が高山城を訪問した際に宿泊した記録も残る棕梨氏菩提寺跡などを指定しています。加えて、未指定文化財として7件をリスト化しました。

墓所として、県指定が3件、市指定が20件です。県指定の小早川隆景墓は米山寺にある小早川氏歴代の墓地にある宝篋印塔です。棲真寺定ヶ原石塔のある棲真寺は、土肥実平が源頼朝の娘と伝わる妙仏を弔うために建てたと言われ、石塔は、妙仏の母である寿庵尼の墓と伝えられています。その他、三原城主であった福島正之や浅野忠長の墓所なども指定しています。加えて、大善寺の檜崎正員の墓など、未指定文化財として47件をリスト化しました。

その他の遺跡として、杭の牛市跡が県指定文化財となっています。備後国と安芸国の境界にある備後牛と安芸牛、蛇の口、石仏、天狗の足掛、おおかみ岩、衣掛の岩など伝説を持つ岩・石が市指定文化財となっています。加えて、未指定文化財として、街道跡、施設跡、慰霊碑や句碑、記念碑などの6件をリスト化しました。

#### (7) 記念物（名勝地 [名勝]）

国登録文化財が1件あります。

国登録文化財である舩木氏庭園は、江戸時代から酒造業により財を成した川口氏の別邸で、茶室・数寄屋建築と併せて造作された庭園です。市指定史跡でもある佛通寺は、応永4（1397）年に高山城主の小早川春平が開いた、京都以西で唯一の臨濟宗の大本山です。現在も紅葉など美しい風情があり、建物も創建当時のたたずまいが偲べれます。

加えて未指定文化財として19件をリスト化しました。滝、川、山岳、海浜、岩石、伝承地などを含みます。

#### (8) 記念物（動物・植物・地質鉱物 [天然記念物]）

国指定天然記念物が3件、県指定文化財が4件、市指定文化財が18件あります。

動物の生息地として、ナメクジウオ生息地が国指定文化財です。ナメクジウオは幸崎能地沖合の有龍島南西に広がる能地堆の干潟の砂中に生息しています。未指定文化財としてホタル生息地をリスト化しました。

植物の生息地として、沼田西のエヒメアヤメ自生南限地帯が国指定文化財です。未指定文化財として賀羅加波神社のケヤキなどの神社の社叢や大木など19件をリスト化しました。

地質鉱物として、久井・矢野の岩海が国指定文化財となっています。両地区では、花崗岩の巨大な岩礫が長く帯状に累々と積み重なっています。岩礫は1～3m、最大7mもあります。規模が大きく、国内でもあまり例がなく貴重です。市指定文化財は、甌穴群など3件を数えます。加えて、未指定文化財として褐炭をリスト化しました。

#### (9) 文化的景観

指定文化財に該当箇所はありませんが、用水路や大池など農業にかかる景観や幸崎の漁港の景観などを8件リスト化しました。

#### (10) 伝統的建造物群

指定文化財に該当箇所はありませんが、西国街道の三原城下町の町並みなど2件をリスト化しました。

#### (11) その他

その他、(1)～(10)のいずれの種別にも属さないものとして、宮沖新開をリスト化しました。

